

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成27年度対象)



平成28年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成27年度の教育委員会の点検・評価を行いましたので報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（平成28年4月1日現在）

職名	氏名
教育長	木村 俊幸
教育長職務代理者	浦壁 京子
委員	石井 國治
委員	村重 浩二
委員	林 洋子

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成27年度は合計で13回開催しました。

- (1) 定例会・・・12回
- (2) 臨時会・・・1回

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（放課後意見交換会）を平成27年度は9回開催しました。（小中学校の授業参観、人権教育セミナーへの参加、次年度教育施策の検討など）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、平成27年度は合計で34件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・9件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・6件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・・・1件
- (5) 付属期間の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・10件
- (6) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・1件
- (7) その他、重要な事項に関する事・・・・・・・・・・6件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（27件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・10件

協議事項（2件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種審議会等の委員の選考・・・・・・・・・・2件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	2	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員委嘱 ・公民館定期休館日の特例規則の一部改正
5月定例会	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・6月補正予算（案） ・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
6月定例会	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価報告書（案） ・総合教育会議の補助執行
7月定例会	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書採択
8月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算（案）
9月定例会	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館休刊日の使用許可
10月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財の新規登録
11月定例会	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算（案）
12月定例会		2		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算の議決結果
1月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育指導員設置等規程の一部改正 ・社会教育指導員設置規程の一部改正
3月臨時会	1			<ul style="list-style-type: none"> ・心身障害児就学指導委員会規則の一部改正
3月定例会	3	6		<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策の策定 ・学校医の委嘱 ・スポーツ推進委員の委嘱
合計	34	27	2	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成27年度教育委員会の基本理念、重点施策、推進目標に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、33事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただいています。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した33事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成27年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・25事業
- B おおむね順調に達成している・・・5事業

- C 達成見込みであるが課題がある・・・ 2事業
- D 達成できなかった・・・・・・・・・・・・ 1事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

- 拡大・・・・・・・・ 2事業
- 現状維持・・・ 27事業
- 改善・・・・・・・・ 4事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、平成27年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、重点施策、推進目標を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳 橋 幸雄

平成27年度事業に係る評価委員会開催状況

- 第1回 平成27年 8月25日 (火)
- 第2回 平成28年 5月16日 (月)

教育委員会の点検・評価

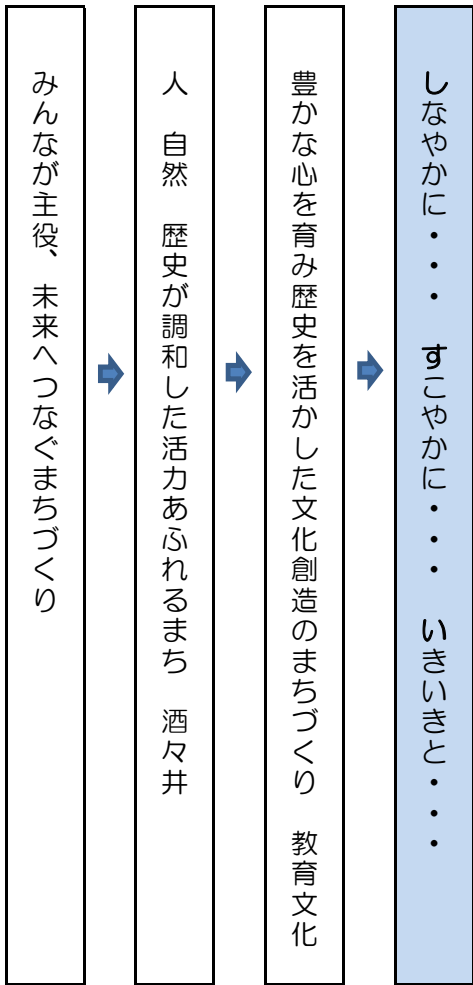
平成27年度

教育施策評価一覧表

平成27年度 教育 施策 体系 図



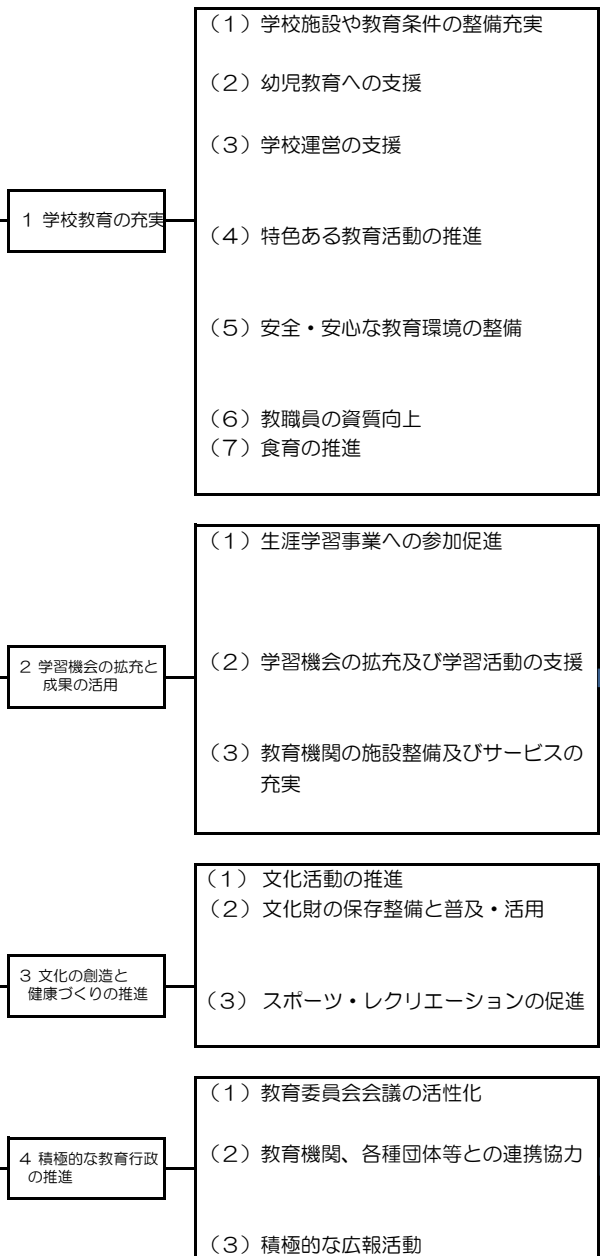
まちづくりの
基本理念
 将来都市像
 基本目標
 基本理念



地域 教育 力の 向上

重点施策

推進目標



主な事業

- ①小学校職員室床改修工事 ②酒々井小学校法面擁壁工事 ③学校図書館の充実 ④就学援助事業
- ①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給、私立幼稚園運営費・教材費の助成
- ①スクールサポート指導員・小学校スクール支援員（理科）の配置 ②特別支援教育の充実 ③保育園・小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実 ④A.L.Tの活用 ⑤図書館教育の充実 ⑥学校適応専門相談
- ①人権・同和教育の推進 ②教職員の特色ある教育活動の支援 ③保中連携推進事業の推進 ④豊かな心を育むCTSプラン事業の推進 ⑤部活動支援事業の推進 ⑥中学生国際交流派遣事業の推進 ⑦いじめ防止対策の推進とネットパトロールの実施 ⑧スクールバス運行 ⑨食物アレルギーの手引きに沿った給食アレルギー対応 ⑩食材放射線測定器による食材の定期的な計測 ⑪調理機器等の保守及び計測
- ①教職員研修の充実
- ①栄養士による栄養指導 ②栄養教諭・栄養士による家庭科授業の参加
- ①家庭教育学級の充実 ②子ども会活動の活性化 ③人権教育セミナーの開催 ④青少年相談員活動の充実 ⑤成人式及び盛年式の開催 ⑥北海道陸別町児童交流事業の実施 ⑦生涯学習を通じたまちづくりフォーラムの開催（町長部局との共催）
- ①学校教育支援促進事業の充実 ②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施（こども青樹堂） ③青少年おもてなしカレッジの実施 ④公民館主催の各種講座の充実と学習成果の活用 ⑤公民館施設の円滑な運営
- ①公民館施設の維持管理 ②公民館施設の計画的な改修 ③公民館施設の耐震補強工事 ④プリミエール酒々井の施設及び各種機器等の維持管理 ⑤図書等の蔵書資料の拡充 ⑥酒々井町子ども読書活動の推進
- ①文化協会への助成 ②郷土研究会への助成
- ①本佐倉城跡整備事業の実施 ②ボランティアガイドの育成、活用 ③史跡ウォーキングの実施 ④文化財管理及び歴史的な文書保存利活用 ⑤まちの顔づくり推進事業 ⑥墨古沢南1遺跡発掘調査の実施
- ①各種スポーツ教室・大会の開催 ②第66回印旛郡市民体育大会 ③活動の場となる体育施設整備の検討
- ①新教育委員会制度での会議の工夫・公開 ②教育委員研修、放課後意見交換会の充実
- ①順天堂大学との相互協力 ②スクールボランティアによる学校支援 ③キャリア教育の充実 ④生徒指導における警察・児童相談所等との連携協力 ⑤地産地消の積極的な取組（生産者との連携）
- ①ホームページの充実 ②勝っタネ！<くの活用

平成27年度 教育施策評価表

担当課	こども課
-----	------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(1) 学校施設や教育条件の整備充実
事業名	① 小学校職員室床改修工事
施策の概要	<p>昨年度、酒々井中学校職員室床改修工事続き、小学校2校の老朽化した職員室の床改修工事を行うものです。工事の内容は、床を10cm上げたフリーアクセスフロアに改修し、OA機器等の露出配線をなくします。また、電源コンセントも机の配置に考慮し、たこ足配線をなくします。</p> <p>なお、工事の時期は、夏休みを予定しています。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	10,044
	施策の概要に記した内容の工事について、6月12日から8月31日まで の工期で、酒々井小学校及び大室台小学校それぞれ実施しました。		
	酒々井小学校	工事面積	124㎡
大室台小学校	工事面積	88.4㎡	
課題・問題点		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成27年度 教育施策評価表

担当課	こども課
-----	------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(1) 学校施設や教育条件の整備充実
事業名	② 酒々井小学校法面擁壁工事
施策の概要	平成25年度10月の台風26号により、酒々井小学校用地の北側法面2カ所が崩落したため、平成26年度に工法検討をし、今年度間知ブロックによる擁壁工事を実施します。擁壁工事は、秋の台風時期までの完成を予定しています。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		5,044	5,832
	施策の概要に記した内容の工事について、7月10日～10月15日までの工期で実施しました。 このことにより、崩落部分の拡大を防ぎ、周辺地域の安全・安心な生活環境を回復することができました。 延長32m、面積122㎡		
課題・問題点		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	酒々井小学校は、用地の大部分を法面が占めているため、今後も安全面等において十分な配慮を期待する。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	こども課
-----	------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(2) 幼児教育への支援
事業名	①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給・私立幼稚園運営費・教材費の助成
施策の概要	私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園設置者を通じて私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。 幼児教育の推進を図るため、町内の私立幼稚園に1園当たり20万円の運営補助、園児1人当たり1千円の教材費補助を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		37,633	33,981
	幼稚園就園奨励費補助金		
	11園児数258名 補助金額33,355,650円		
	運営費 2園（1園/200千円）		
	教材費 対象園児数（5/1基準日）225名（1名/1,000円）		
課題・問題点		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(3) 学校運営への支援
事業名	③保育園、小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実
施策の概要	グローバル化に対応した教育・国際理解教育の推進を図るために、保育園・各小中学校の英語教育の充実を図ります。また、異文化理解を深める中で、語学力・コミュニケーション能力の育成に努めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	0
	保育園から小中学校まで12年間に渡る英語教育の実施により、国際理解教育の推進を図ることができ、コミュニケーション能力の育成を第一に考えた英語指導を行うことができた。また、ALTを有効に活用することで、異文化理解も深まり、グローバル化に対応した児童生徒の育成に努めることができた。		
課題・問題点	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(3) 学校運営の支援
事業名	④ALTの活用
施策の概要	小中学校における国際理解教育の推進を図るために、ALTを直接雇用し、ティームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向上を図ります。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		6,885	6,885
実績・成果	ALTを直接雇用（2名）していることにより、充実した英語教育を実施できている。特に小学校低学年・中学年では、ALTと連携しながら年間指導計画に沿った外国語活動が実施できた。中学校においてはスピーチコンテストの指導等にもALTが関わり、また、授業での効果的な運用ができたことで、コミュニケーション能力の育成に努めることができた。		
課題・問題点	中学校では時間割によってALTを多く活用できるクラスとそうでないクラスがあるため、今後改善していきたい。平成28年度については、各小中学校においてALTが出勤する曜日を変更し、さらにALTの活用を推進できるように工夫していく予定である。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px;"></div>
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(3) 学校運営の支援
事業名	⑤図書館教育の充実
施策の概要	学校図書館と公立図書館との連携を深めるとともに、学校図書館アシスタントを各小中学校に配置し、図書館の機能を活かした教育活動の充実を図ります。 。 。 。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		1,634	1,634
実績・成果	学校図書館アシスタントの図書館だよりの発行や工夫した図書館運営によって、図書館の活用の充実が図られている。プレミアム酒々井との連携によって、各小中学校において調べ学習に活用できる図書が充実し、学校図書館の効果的な運用が図られた。また、学校図書館における新旧図書の入れ替えがスムーズに行えたことで、図書の充実を図ることができた。		
課題・問題点	今後も新旧図書の入れ替えを実施し、図書の充実を図ると共に、蔵書率の向上に努めたい。 。 。 。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	。 。 。
---------	-------------

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進
事業名	①人権・同和教育の推進
施策の概要	<p>人権アンケートを実施することで、そこから得られた児童生徒の意識（実態）を反映した研究を深めながら、人権・同和教育活動を推進します。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		200	200
	<p>人権アンケートの結果をもとに、人権教育の視点に基づいた指導を心がけながら授業に取り組んだ。今年度は、11月12日に大室台小学校で人権・同和教育授業研修会を実施しました。人権集会（大室タイム）を「ふれあいグループ」で実施し、人との関わりを深める児童の育成に努めることができた。酒々井小学校においては、来年度の公開に向け、研修を深めることができた。</p>		
課題・問題点	<p>人権に対する意識を今後も学校教育活動の中でさらに高めていきたい。平成28年度については、酒々井小学校が文科省指定の公開研究会を実施することで30万円の補助金の増額を受けている。</p> <p>平成28年度人権・同和教育研究補助金：酒々井小40万・酒々井中10万</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進
事業名	②教職員の特色ある教育活動の支援
施策の概要	各学校の特色ある教育活動の積極的な推進を図るため、「教職員の特色ある教育活動支援事業」を実施し、児童生徒に対する教育効果をあげるための調査研究活動を支援します。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		400	400
	今年度も、「教職員の特色ある教育活動支援事業」に3件の応募があり、熱心に教育活動に取り組んだ。酒々井中学校小野田教諭の「特別支援教育」の提案が第1席、酒々井小学校倉部教諭の「ふれあい活動」と大室台小学校畑教諭の「人権教育」についての提案が第2席となった。購入した教材等についても効果的に活用することができた。		
課題・問題点	補助金の使途が備品や教材購入にあてられているが、教育活動のさらなる向上を目指して、講師の派遣や研修会への参加といった指導技術の向上を目指した取り組みなども推奨していきたい。また、各小中学校から1件ずつの応募が慣例となっているが、平成28年度からは完全公募制とし、自主的な応募が増えていくように各小中学校に促していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	事業が定着し、充実しているように見受けられる。教職員の積極的な提案により、特色ある教育活動が進むよう期待したい。
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進
事業名	③保小中連携推進事業の推進
施策の概要	保小の交流会や小中学校交流会及び保小中連携分科会を実施し、学習指導や生徒指導における連携の円滑化を図ります。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		300	300
	6月に特別支援学級小中交流会、10月には小中合唱発表交流会、12月には小中あいさつ運動等を実施した。保小中連携推進協議会では、保小のさらなる連携の在り方、小中では生徒指導部・研修部に分かれ、今後もさらに連携を推進していく必要性について話し合われた。特に、生徒指導部ではスマートフォン等のトラブル防止についての保護者啓発資料を作成し、配布予定である。		
課題・問題点	小中学校間では特別支援、生活科を含む11の教科と領域で分科会を行っているが、分科会で話し合われた内容をさらに充実させ、より連携を深めていく必要がある。生徒指導では、連携5項目の中の特に「あいさつ」について強化していく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	酒々井中学校での交通安全に関する啓発を参観させていただいた。生徒が肌で事故の恐ろしさを感じ取れたように見受けられたので、今後も交通安全に関する取り組みを充実させていただきたい。
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(4) 特色ある教育活動の支援
事業名	⑤部活動支援事業の推進
施策の概要	中学校における部活動の充実を図り、生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すために、部活動支援事業の積極的な推進を図ります。

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		500	500
	中学校における各部活動の充実が図られ、各種大会やコンクールにおいて優秀な成績を収めることができた。また、順調に事業の推進が図られ、心身の健やかな成長を促すことができた。		
課題・問題点	県大会以上の大会へ参加する際の借り上げバスの費用については、保護者負担ではなく、部活動補助金で対応している。しかし、バス代の高騰により現状の予算では全く対応できていない。現在はPTAから援助を受けているが、それを継続していくことは非常に困難な状況である。今後さらなる予算の増額が必要である。		



今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	生徒の活躍により、参加費などが増えるのは喜ばしいことであるので、生徒や家庭が安心して部活動に取り組めるよう、予算獲得に向けて調整を図っていただきたい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(4) 特色ある教育活動の支援
事業名	⑥中学生国際交流派遣事業の推進
施策の概要	国際化に対応できる人材の育成を図るため、中学生を海外へ派遣する「国際交流派遣事業」を実施します。ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力の向上を図ると共に異文化理解を深めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		3,112	3,533
	今年度は20名の中学生が参加し、予定通りに実施することができた。6泊8日の現地での活動を有意義に送ることができ、解団式では参加した生徒たちが体験したことや感想をしっかりと述べることもできた。また、始業式では代表生徒2名が全校生徒の前で堂々とした姿で感想を述べ、オーストラリアでの貴重な体験を伝えることができた。		
課題・問題点	本事業実施4年目を迎え、年々希望者が増えてきているが、生徒指導上問題を抱える生徒、経済的に困難な家庭の生徒、食物や動物等のアレルギーのある生徒等が希望することもあり、その対応に苦慮することもある。募集要項や説明会等での丁寧な説明がさらに必要である。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	費用の2分の1を町が補助するのは大変なことだが、この補助により、参加できる生徒がいることも確かだと思われるので、今後も、将来を背負って立つ、やる気に満ちた生徒が国際交流に参加できるような体制を維持していただきたい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備
事業名	①いじめ防止対策の推進とネットパトロールの実施
施策の概要	各小中学校ごとに、各校の実態に応じた「いじめ防止基本方針」を作成し、教職員ひとりひとりがいじめ問題の重要性を認識し、常に危機意識をもっていじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組みます。 また、ネットパトロールを実施し、スマートフォン等のトラブル防止に努めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		96	96
	各小中学校の生徒指導部を対象にした研修会を町教委主催で複数回開催し、いじめ問題に組織で対応できるように研修を深めた。また、各小中学校の生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図り、いじめの未然防止・早期対応・早期解決に努めることができた。スマートフォン等のトラブルについては、ネットパトロールを実施することで、未然防止と早期発見に努めることができた。		
課題・問題点	スマートフォン等によるトラブルについては依然後を絶たない。今後も小中での連携をさらに深めながら対応していく必要がある。また、保護者についても各小中学校でのスマートフォン等に係るトラブルについて周知し、注意喚起をさらに図る必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校給食センター
-----	----------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備
事業名	④食材放射線測定器による食材の定期的な計測
施策の概要	放射線濃度が国の基準を満たし流通したものであっても、更に町独自で下限値を定め測定することにおいて給食食材の安全性を高め、ホームページにおいて公表することで安心な給食提供に努めます。 酒々井町放射線測定器（ガンマスペクトロメーター）計測によりセシウム濃度50ベクレル以上は使用を取りやめ、精密検査機関において検査実施。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		216	284
	週3回2品目（主菜1品・副菜1品）を原則とし、当日使用する食材の中から選定し検査する。		
	平成27年度検査実施数144回 全て酒々井町の定める基準を下回り、安全が確認された。 平成24年度5月簡易測定器導入（機器購入費3,211千円）		
課題・問題点	先の見通しが不透明な放射能汚染問題を、酒々井町においても対応に苦慮するところである。事業においても設備機器に年1回程度の保守経費を要すこととなり、経費も増額した。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校給食センター
-----	----------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備
事業名	⑤調理機器等の保守及び計画的な更新
施策の概要	平成27年度調理機器設備更新事業において「給食センタープレハブ式冷凍庫・冷蔵庫」を更新いたします。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	5,546
	プレハブ式冷蔵庫・冷凍庫については食材の保管、衛生管理において欠かさない設備であることから、今回の更新によりより安全で、安心な給食の提供に資すると考えられます。また庫内への出入り口を床面と同じ高さとするなど改善を図り調理員の作業時の安全性に配慮しました。		
課題・問題点	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校給食センター
-----	----------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(7) 食育の推進
事業名	①栄養士による栄養指導
施策の概要	小学1年生から6年生までの各クラスにおいて、学年に応じて「食」のテーマを設け、給食指導を行うなど食に関する興味関心を高めていきます。 また中学1年生を対象に、生活リズムや食生活の乱れから陥りやすいからだの不調を予防するため「生活習慣病予防学習会」を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	0
	給食時間前15分を利用し、児童の年齢に応じたテーマの授業を栄養士が直接行うことで、食に関する知識、興味関心を持たせるよう努めた。 中学生1学年生徒については、成長期に必要な栄養素や生活習慣の改善等の講話を行った。		
課題・問題点	朝食をとらない児童生徒が学年が上がるにつれて増加したり朝食を摂っていてもその内容(栄養バランス、量)が不十分であったりする現状から、小学生から中学生の成長著しい子ども達へ、食事環境や食事内容、食事時間等の正しい知識を身につけさせる必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	栄養士の給食に関する説明は、児童・生徒にとって重要と考えている。学校に赴いての説明については、すでに取り組んでいると聞いているが、今後も引き続き実施していくようお願いしたい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校給食センター
-----	----------

重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(7) 食育の推進
事業名	②栄養教諭・栄養士による家庭科授業の参加
施策の概要	小学5・6年生及び中学2年生の家庭科の調理実習等に栄養教諭がT.T(チームティーチング)として参加することで、専門的な視点から栄養面について児童生徒の食に関する指導を行います。また、中学校の運動部代表者を対象に部活中に陥りやすい熱中症予防対策やスポーツをする時に必要な栄養素を指導することで、事故を防ぎ身体能力を上げるためのサポートを行います。

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	0
	家庭科の実技の授業において、教科担任だけでなく専門教諭が授業に協力することできめ細やかな授業展開が実現できました。中学1年生の調理実習では「生鮮食品とは何かを理解し、選び方及び調理の仕方」を学ぶ授業に参加し、生徒達の調理のサポートを行いました。		
課題・問題点	<div style="border: 1px dashed black; height: 40px; width: 100%;"></div>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する(復活の可能性あり) 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	<div style="border: 1px dashed black; height: 40px; width: 100%;"></div>
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進
事業名	①家庭教育学級の充実
施策の概要	<p>様々な体験や活動を通して、家庭における教育力の向上を図ります。</p> <p>家庭教育学級の講座の情報提供を実施することで、学級生の企画力を支援し講座内容の充実を図ります。</p> <p>参考：ローズマリー学級10回、酒々井小7回、大室台小7回、酒々井中6回</p> <p>登録者：ローズマリー学級24人、酒々井小20人、大室台小37人、酒々井中21人</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		958	975
	<p>ローズマリー学級10回開催、酒々井小家庭教育学級7回開催、大室台小家庭教育学級7回開催、酒々井中家庭教育学級6回開催しました。</p> <p>各学級の学習内容は、食育のための料理教室、教育講演会への参加、心肺蘇生法・応急措置やフラワーアレンジメントなどの体験教室、施設や学校等の視察等です。</p>		
課題・問題点	<p>各学級ともに、全体的に学習会への参加者が少ない傾向にあります。</p> <p>保護者の就労、子どもの体調不良等、さまざまな原因もありますが各講座について事前に十分な広報を図る必要があります。</p> <p>また、引き続き、保育園・幼稚園などに案内チラシを配布し、多くの保護者の入級につなげていきます（ローズマリー学級）</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<p>大切な事業と考えるが、参加者が少ないということなので、内容等を精査し、多くの方々に参加していただけるような取り組みを期待したい。</p>
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進
事業名	③人権教育セミナーの開催
施策の概要	様々な人権に関する問題に気付き、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習機会を提供します。 *年間6回開催

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		254	301
	第1回：千葉県中世武将と部落の起源 48名参加。第2回：未来に生きる子どもたち 92名参加。第3回世界の果てで考えたこと 350名参加。第4回：障害者をめぐる人権 71名参加。第5回：めぐみ～引き裂かれた家族の30年 220名参加。第6回：子どもの貧困と学習支援の効果 132名参加。合計913名参加。		
課題・問題点	効果的なテーマ・講師を選定し、また、あらゆる住民への周知方法をとることにより、参加人数を増加させることが課題です。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進
事業名	⑥北海道陸別町児童交流事業の実施
施策の概要	町の次代を担う子どもたちの成長のため、異なる環境に触れ体験する機会を与え、また、陸別町の児童との交流を図ることで、子どもたちの視野を広げることを目的に実施します。 募集人員：20名（引率者4名）

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		1,868	2,060
実績・成果	8月25日～27日に、町内の小学6年生19名（20名中1名欠席）と引率4名とで北海道陸別町児童交流事業を実施しました。7月21日の結団式に始まり、4日間の事前学習を経て、陸別町役場表敬訪問や陸別小学校での交流、陸別町役場職員の説明による関寛齋資料館などでの学習、銀河の森天文台での天体観測などを体験しました。レク係、食事係など、一人一人が役割を持ち、責任感を持って行動することができました。		
課題・問題点	陸別小学校での交流の際に行う発表や3日間の訪問に向けての様々な準備、練習等を事前学習でしっかり行い、一人一人が熱意を持って主体的に事業に関わっていけるようにすることが今後の更なる課題であります。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援
事業名	②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施（子ども青樹堂）
施策の概要	<p>子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として開設します。</p> <p>対象：町内小学校3・4年生1クラス及び5・6年生1クラス、各25人程度</p> <p>参考：3・4年生クラスは、公民館事業こども青樹堂として平成22年度開始</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		975	928
	<p>3・4年生対象の「しすいこども青樹堂」は児童22名に全18回の学習会を実施し、国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎の学び方を学習し、自主的な学習活動を支えています。5・6年生対象の「土曜塾」は児童18名に全18回の学習会を実施し、算数・国語の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行いました。</p>		
課題・問題点	<p>教員（現職・経験者含む）や教職を目指す学生などの学習指導者の確保を図っていくことが課題です。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	中央公民館
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(2) 学習機会の拡充と学習成果の支援
事業名	④公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用
施策の概要	特別講座として「しすい青樹堂」を開講しました。また、小学3・4年生及び5・6年生を対象とした「こども青樹堂」や外国人を対象とした「コスモス会日本語教室」、町民文化祭等の自由講座を開講いたします。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額 528	平成27年度決算見込額 636
	しすい青樹堂では順調に講座を進め、2期生については3月に卒業を迎え、「学習のまとめ」（酒々井町の達人を探せ）をテーマに学習の成果を報告しました。こども青樹堂では小学3～6年生の児童達が楽しく学習しています。 また、コスモス会日本語教室では、それぞれのレベルに合わせた講座を行い、受講生の生活にあった講座を行いました。		
課題・問題点	青樹堂師範塾については受講希望者が少なく、開講することが出来ませんでした。住民のニーズに合った講座として開講できるように、しすい青樹堂を含め改善の必要があります。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	受講生が少ないとのことだが、良いネーミング、良い活動であるので、青樹堂から師範塾へ進んでいただけるよう期待したい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	中央公民館
-----	-------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実
事業名	③公民館施設の耐震補強工事
施策の概要	中央公民館は町民の学びの場として設立され35年が経過しています。利用者がより安全に、そして安心してお使いいただけるよう目標IS値（安全の判定基準）を満たしていない講堂棟及び2階棟につきまして耐震補強工事を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	<p>・入札不調の要因としては、年度末の工事となり、業者サイドから見ると受注困難な工期(11月～5月)であるのではないかと考えられますが、町民文化祭や町の行事等の開催を考えると工期については妥当であると考えております。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---------	-------------------------------

平成27年度 教育施策評価表

担当課	プリミエール酒々井
-----	-----------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実
事業名	④プリミエール酒々井の施設及び各種機器等の維持管理
施策の概要	<p>プリミエール酒々井は開館から12年半が経過し、修繕やメンテナンスあるいは更新を必要とする機器等が生じているため、施設本来の機能の維持に努め利用者へ支障を来さぬよう計画的な修繕に努めます。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		1,720	1,949
	<p>【平成27年度の主な修繕】</p> <p>多目的トイレ蛇口修繕、吸水式冷温水機部品交換、ホール内客席修繕、エントランスフローリング床補修、トイレ水石鹸器修理、吸収式冷温水機圧力ポンプ交換、冷水器修繕、ガーデンライト交換修理、女子トイレ修理</p>		
課題・問題点	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	プリミエール酒々井
-----	-----------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実
事業名	⑤図書等の蔵書資料の拡充
施策の概要	町民の読書や多様な学習機会に応えるため、図書・CD・DVDなど蔵書の整備充実を図り、かつ他の図書館との相互貸借を活用し、積極的な資料の提供を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		4,754	4,810
	各分野の基本図書を中心に、利用者のニーズを考慮した選書を心がけ、資料の購入を行いました。図書購入数：2,184冊 視聴覚資料購入数：40点 リクエストについては、購入以外にも県内図書館との相互貸借を活用し、要望に応えられるよう努めました。 千葉県公立学校教職員組合互助会から児童コーナーに書架及び図書149冊の寄贈を受けるとともに町による書架の増設を行いました。		
課題・問題点			



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	プリミエール酒々井
-----	-----------

重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実
事業名	⑥酒々井町子ども読書活動の推進
施策の概要	平成27年4月に策定した「酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図ります。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		50	736
	夏休み工作教室、夏休み理科教室、読み聞かせボランティア講座、おはなし会、わらべうたの会、図書館講演会 参加者数計：416人		
	読書通帳の作成：5,000部 読書に関するアンケートの実施 小学校5、6年生393人 中学校381人 合計774人 図書館、学校、保育園及び地域・家庭のリーフレットの作成		
課題・問題点	本計画に基づき、他機関との連携も図りながら、子どもの読書活動の充実に努めます。		
		
		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進
推進目標	(1) 文化活動の推進
事業名	①文化協会への助成 ②郷土研究会への助成
施策の概要	酒々井町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進を目的とし、町内の文化団体への補助金の交付を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		214	214
	町内の文化団体への補助金の交付・活動の補助を実施し、酒々井町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進が図られました。 補助金交付団体：文化協会・郷土研究会		
課題・問題点	役員の高齢化により、運営が困難になっていることが問題点です。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	獅子舞などの無形文化財については、後継者不足が深刻と聞いているが、地域の貴重な伝統を継承できるよう期待している。
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用
事業名	①本佐倉城跡整備事業の実施
施策の概要	「本佐倉城跡整備基本設計」に基づき、入口広場整備工事として基盤造成・駐車場等整備工事を実施します。また昨年度行った同用地の発掘調査成果をまとめ、報告書として刊行します。併せて平成25年度の台風被害による城山郭北斜面の崩落復旧工事と東山馬場の倒木処理を行います。またボランティアガイドと協働して見学会を実施するほか公民館、本庁舎玄関で展示を行います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		8,223	32,193
実績・成果	入口広場整備工事については、県の補助金を活用して基盤造成・駐車場・導入広場等の工事を終了し、利用開始することができました。また同用地の発掘調査成果をまとめる報告書の作成も国・県の補助金を活用して終了しました。台風被害による災害復旧工事ではやはり国・県の補助金を活用して進め、崩落復旧工事・倒木処理作業を終了することができました。周知活動としては3月12日に見学会を実施した他、本庁舎玄関における展示を継続して行っています。		
課題・問題点	今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細について、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討していく必要があります。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用
事業名	⑤まちの顔づくり推進事業
施策の概要	江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行ない、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加を図ります。本年度は当事業のマスタープランとなる『酒々井町歴史文化基本構想』作成及びその内容について周知を図るための講演会を実施します。

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		-	-
	地方創生交付金を活用し、「酒々井町歴史文化基本構想」の作成に向けた資料調査等の補助・作成を委託することにより、国史跡本佐倉城跡や旧酒々井宿を中心とした町の文化財を総合的に保存・活用するための指針となる「酒々井町歴史文化基本構想」を作成することができ、より効果的で幅の広い保存・活用、文化財保護の普及を進めることができるようになった。		
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、現在まちづくり課で進めている景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行ない、検討を進める必要があります。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	上宿地区を含め、当該地域の県道は歩道整備が長く求められているので、文化財の保存と合わせ進められるよう期待したい。また、施策の概要に掲げる交流人口の増加が図られるよう、積極的な啓発を進められたい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用
事業名	⑥墨古沢南 I 遺跡保存整備事業
施策の概要	約3万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡であり、下総台地を中心として特徴的に検出され、旧石器時代の人々の生活やムラの様子を示す重要な資料として注目されている墨古沢南 I 遺跡の「環状ブロック群」の残り東半分について発掘調査を行い、その遺存状況や規模・内容を把握し、全国初かつ日本最大級の環状ブロック群として国史跡指定を目指し保存整備事業を進めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		-	9,237
	10月より3カ月間、環状ブロック群本体の保存に向けた内容確認発掘調査を国・県の補助金を活用して実施し、続きとなる石器が検出されるなど、成果を得ることができ、今後の国史跡指定に向けての基本資料の集積を図ることができました。併せて中央公民館での展示や12月12日に現地説明会の開催をとおして遺跡の周知活動も行いました。		
課題・問題点	発掘調査等の継続によるさらなる資料の集積や有識者に調査指導・分析を受けるなど、国史跡指定に向けての遺跡の価値づけを十分に進めていく。併せて遺跡の周知・普及活動や今後の利活用の方向性も考えていかなければならない。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	文化財の普及には地元の理解が不可欠であるので、町ぐるみで勉強する機会を作るなどしていただきたい。また、学校においても副読本などで文化財を扱っているとのことなので、引き続き学習の機会を作っていただきたい。
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進
推進目標	(3) スポーツ・レクリエーションの促進
事業名	①各種スポーツ教室・大会の開催
施策の概要	<p>スポーツ推進委員・体育協会など各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会教室などを引き続き開催します。</p> <p>また、町民のニーズにあった教室や大会を開催することにより、健康づくりや仲間づくりのきっかけを作ります。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		4,100	4,809
	<p>各種団体が役割に応じ、スポーツ大会・レクリエーション大会を開催し、延べ4,216人（26年度3,727人、25年度4,135人）の参加者を得、スポーツの振興、健康体力づくりのきっかけになりました。</p> <p>特に、ライトスポーツクラブは、毎週水曜日夜実施しているところだが、延べ831名（前年増188名）の参加がありました。</p>		
課題・問題点	<p>いままで、スポーツ大会・レクリエーション大会等に参加したことのない新たな参加者を確保し、健康体力づくり・仲間づくりをするため、町民のニーズに合った大会の開催、PRの充実を図る必要がある。</p>		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる

評価委員の意見

評価委員の意見	<p>ライトスポーツの普及を積極的に行い、健康づくり・仲間づくりの輪が広がるよう期待したい。</p>
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	こども課
-----	------

重点施策	4 積極的な教育行政
推進目標	(1) 教育委員会会議の活性化
事業名	② 教育委員研修、放課後意見交換会の充実
施策の概要	新教育委員会制度への移行に伴い、教育行政の責任体制の明確化、委員会の審議の活性化や迅速な危機管理体制の強化など、教育委員会の改革が求められる中で、研修会などでの他市町村との意見交換、教育現場の視察研修等、積極的に情報収集を行うことで、教育委員の識見を高めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		-	-
	県内、郡内の研修会に積極的に参加し、他市町村の教育委員との交流を深めたほか、学校行事への参加・学校現場への視察を行いました。また、地域の伝統芸能の視察や祭りなどへの参加を通して、委員の見識をさらに高めました。		
課題・問題点	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	---

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

重点施策	4 積極的な教育行政
推進目標	(2) 教育機関、各種団体等との連携協力
事業名	③キャリア教育の推進
施策の概要	酒々井町ライオンズクラブ・酒々井町商工会及び町役場総務課・経済環境課の協力を得て、各学校との連携を図りつつ、児童生徒の発達段階に合わせたキャリア教育の充実に努めます。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		0	0
	関係機関などとの連携を図りながら、小学校では「ゆめ・仕事びったり体験」、中学校では「職場体験学習」を予定通り行うことができた。また、地域の協力を得ながら、キャリア教育の推進を図ることができた。		
課題・問題点	小学校の「ゆめ・仕事びったり体験」及び中学校の「職場体験学習」については、平成28年度より実施方法を変更する予定である。酒々井小・酒々井中については夏休み中に実施し、大室台小については校外での体験学習から体育館に様々な職業の方を招いての調べ学習を実施する予定である。新たな取組を実施することで今後、問題点や課題について整理し、吟味していきたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



評価委員の意見	
---------	--

平成27年度 教育施策評価表

担当課	学校給食センター
-----	----------

重点施策	4 積極的な教育行政
推進目標	(2) 教育機関、各種団体との連携協力
事業名	⑤地産地消の積極的な取組（生産者との連携）
施策の概要	<p>酒々井町農業生産者との連携を図り、収穫される米や野菜や加工品を積極的に使用し地産地消の推進に努めます。また、栄養素の多い野菜を利用するなど新鮮で美味しい、バランスの良い給食の提供に努めます。</p> <p>酒々井町のホームページの活用や給食だより、毎月の献立等で町の農業生産者の声を周知することで、生産者への日々の努力や命をいただく食材への感謝の気持ちの向上に努めます。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成26年度決算額	平成27年度決算見込額
		10,210	9,099
課題・問題点	<p>給食に提供できる農産物生産者の数が減り、また天候不順などの影響で給食に使用する希望量が質とともに揃わないことがあった。</p> <p>今後も協力していただける農産物生産者と連絡を密にし、新鮮で質のよい旬の食材を積極的に取り入れられるよう、献立を作成していきたい。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---------	--